※令和４年度以降入学生用

学校番号	106

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高等学校新地理総合」（帝国書院）「新詳高等地図」（帝国書院）						
副教材等	「新編フォトグラフィア地理図説」（東京法令出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代世界は、自然環境の条件の上に、さまざまな国や地域の多様な人々が作り上げてきた関係の中で成り立っています。今の世界を理解するために、自然・経済や社会の現況・歴史、及びそれらの関係性など、幅広く学ぶ必要があります。　その過程では、地図やデータを活用しながら、その読み方・扱い方を身に着け、その上で世界を分析や理解できるようにします。

2　学習の到達目標

⑴　知識及び技能…現代世界の基礎的条件となる様々な自然環境の基礎を身に付けるようにする。
⑵　思考力、判断力、表現力等…様々な地域の多様な人々の営みを、歴史的背景・地域性・文化的経済的観点等を踏まえて学び、その過程で、データを読み取り、地図化(統計図化)する力を養う。
⑶　学びに向かう力、人間性等…人間と自然の関係や、社会のあり方や関係の持ち方、また、人類の未来についての考えを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・基本的な事項（地名や用語等）を覚えるだけでなく、関連することを導き出そうとしている。また、覚える際、自分の言葉で置き換えて記述、説明する力が身に付いている。 ・地図から自然や社会を見る力、情報を批判的客観的に選択し分析する力、データから現状や将来を類推する力が身に付いている。	・地図、自然、地域、文化、産業、防災等、それぞれの項目の現状、経過、課題等を学ぶ中で、理解したことや得た知識を様々な角度から考察し、説明や表現できる力が身に付いてる。	・地球や世界の現状に関心を持つことが、今後の社会との関わり方や将来設計につながる大切なことと考えて、常に「なぜか？」「どうなっているのか？」を追求する姿勢を持とうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	地図でとらえる現代世界	1. 地球上の位置と時差 2. 地図の役割と種類 3. 現代世界の国家と領域 (日本の領域、領土についても扱う) 4. グローバル化する世界	a:・方位や時差，位置と領域，国内や国家間の結び付きなどについて理解している。 ・地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 b:・現代世界の地域構成について，位置や範囲などに着目して，主題を設定し，世界的視野から見た日本の位置（日本の領域を含めて），国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・地図や地理情報システムについて，位置や範囲，縮尺などに着目して，目的や用途，内容，適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:・地図や地理情報システムを用いて課題を主体的に追究し，多面的・多角的な考察を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	・テスト ・定期考査	・定期考査 ・レポート ・授業ノート	・活動の様子の観察 ・レポート ・口頭発表
	国際理解と国際協力	1. 世界の地形と人々の生活 2. 世界の気候と人々の生活	a:・人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 ・自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している b:・世界の人々の特色ある生活文化について，その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:・世界の人々の特色ある生活文化と様々な地理的環境との関連性を把握したうえで，そこから見いだされる生活文化の課題について主体的に追究し，その解決策を意欲的に考察・構想しようとしている。	・テスト ・定期考査	・定期考査 ・レポート ・授業ノート	・活動の様子の観察 ・レポート ・口頭発表

※令和４年度以降入学生用

2	国際理解と国際協力	1. 世界の言語・宗教の人々の生活 2. 歴史的背景と人々の生活 3. 世界の産業と人々の生活	a:・人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 b:・世界の人々の特色ある生活文化について，その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:・世界の人々の特色ある生活文化と様々な地理的環境との関連性を把握したうえで，そこから見いだされる生活文化の課題について主体的に追究し，その解決策を意欲的に考察・構想しようとしている。	・テスト ・定期考査	・定期考査 ・レポート ・授業ノート	・活動の様子の観察 ・レポート ・口頭発表
2	国際理解と国際協力	1. 複雑に絡み合う地球的課題 2. 地球環境問題 3. 資源・エネルギー問題	a:・世界各地で見られる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題を理解する。 ・地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解している。 b: ・世界各地で見られる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について，地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して，主題を設定し，現状や要因，解決の方向性などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: ・地球的諸課題の解決を目指す様々な主体の取り組みへの興味関心を持つとともに，そうした諸課題を国際社会の一員として主体的にとらえ，自分事として落とし込みながら意欲的に解決のあり方を考察・構想しようとしている。	・テスト ・定期考査	・定期考査 ・レポート ・授業ノート	・活動の様子の観察 ・レポート ・口頭発表

※令和４年度以降入学生用

3	持続可能な地域づくりと私たち	1. 自然環境と防災 2. 生活圏の調査と地域の展望	a: ・地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに，自然災害の規模や頻度，地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 ・様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について，その情報を収集し，読み取り，まとめる地理的技能を身に付けている。 b: ・地域性を踏まえた防災について，自然及び社会的条件との関わり，地域の共通点や差異，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・生活圏の地理的な課題について，生活圏内と生活圏外とを比較検討して，地域の成り立ちや変容，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c: ・自然災害や防災・減災への興味関心を強く持つとともに，自分の住む地域で生じうる自然災害について主体的に追究し，平常時または災害発生時における具体的な備えや取り組み，対応のあり方について積極的に考察・構想しようとしている。	・テスト ・定期考査	・定期考査 ・レポート ・授業ノート	・活動の様子の観察 ・レポート ・口頭発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度